

調査から見える 浦安っ子

～浦安市小・中学生生活実態調査～（令和3年度実施）

市内小中学校に在籍している子どもたちを対象に、平成16年度より隔年で行っている調査です。子どもたちの意識や生活・行動などを調査し、その実態を客観的に把握し、今後の教育施策の策定や推進に活用していくものです。

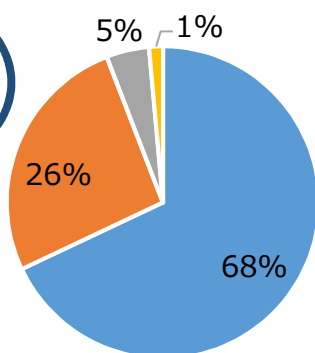
自分たちが住んでいる地域のことや施設の活用状況について調査した結果についてお知らせします。



<自分の住んでいる地域のことは好き？施設の利用度は？>

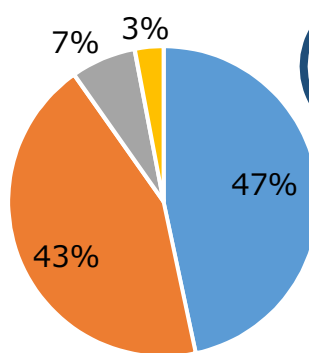
Q. 自分の住んでいる町や地域が好きだ。

小学生



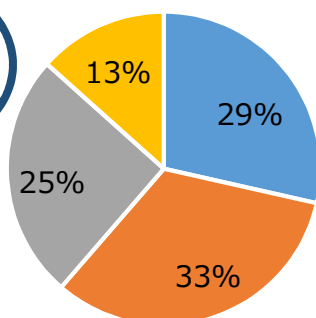
- とてもそう
- まあそう
- あまりそうではない
- 全くそうではない

中学生



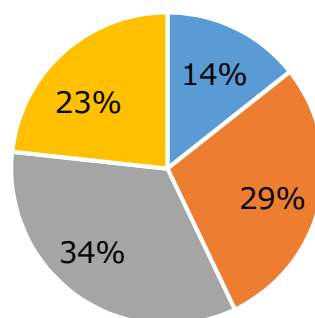
Q. 郷土博物館や公民館、図書館を利用していますか。

小学生



- とてもそう
- まあそう
- あまりそうではない
- 全くそうではない

中学生



大多数の子どもたちが、自分たちが住んでいる町のことを「好きだ」と答えています。過去の調査と比べても、少しずつ「好きだ」と答えている子どもたちの割合は増えています。一言で「浦安」と言っても、地域によって見せる顔は様々です。しかし、その地域ごとのよさを子どもたちは感じているのかもしれない。

郷土博物館や公民館、図書館など公共施設の利用率は、小学生で6割、中学生で4割でした。これは感染症対応のため、利用そのものが制限されていたり、利用を控えたりした結果だと推察されます。これからは以前と同じように利用できるようになります。各施設でも趣向を凝らした催し物を計画しているので、ぜひ利用してほしいと思います。

